

令和2年版 環境レポート

第2次かんだ環境未来図（苅田町環境基本計画）に掲げた目標の達成状況や施策・事業の実施状況について令和1年度の成果をとりまとめた報告書です。



（令和1年8月に行われた殿川の生き物調査の様子）

苅田町

基本目標1

水：きれいな川や海と水資源を大切にすまち

平成31年度の成果

	名称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R1年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	河川的环境基準適合状況※1	66.7%	83.3%	100%	B
	海域的环境基準適合状況※2	20.0%	100.0%	現況値より 増加	A
	生活排水処理率※3	83.2%	91.9%	92.0%	B
取組指標	下水道普及率	40.4%	51.6%	68.4%	B
	川をきれいにすまちイベント の実施回数	1回	3回	2回	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない

※1 河川的环境基準適合状況=BODの測定地点数に占める環境基準適合地点数の割合

※2 海域的环境基準適合状況=CODの測定地点数に占める環境基準適合地点数の割合

※3 生活排水処理率=(公共下水道処理人口+合併処理浄化槽人口+農業集落排水処理人口)÷行政区内人口

- 河川的环境基準適合状況については、環境基準が適用される河川の測定地点6地点中5地点において環境基準を達成しています。
- 海域的环境基準適合状況については、地先海域（苅田港内）10地点中すべてにおいて環境基準を達成しています。
- 生活排水処理率については、公共下水道処理や合併処理浄化槽、農業集落排水処理人口の増加により前年度（90.7%）より1.2%上昇しています。
- 下水道普及率については、下水道認可区域を着実に整備し、供用開始区域を広げており前年度（49.6%）より2.0%上昇しています。白川南部地域では農業集落排水事業を実施しています。
- 川をきれいにすまちイベントについては、町が生き物調査を1回、殿川とホテルを守る会（町民団体）が清掃活動を2回実施しました。

施策や取組の現状と課題

1-1 川・池・海の水質を改善する

- 町環境保全課及び福岡県が継続的に水質モニタリングを実施しています。町が実施する調査は、河川の水質について町内11河川（13地点）で年4回、海の水質について苅田港内外10地点で年1回行っています。結果は広報かんだと町や県のホームページで情報提供しています。今後も継続してモニタリングを実施していきます。
- 農業において化学肥料等削減の啓発推進や、希望する家庭にEM活性液を無料配布することにより、河川・海域の水質改善に取り組んでいます。今後も施策を継続し、水質改善に取り組んでいきます。

1-2 生活排水対策などで水環境を守る

- 環境指標・取組指標の目標値達成に向けて、公共下水道は認可区域を着実に整備し、供用開始区域を拡大しています。整備区域内における速やかな接続が課題です。
- 公共下水道認可区域外では、合併処理浄化槽設置者に対する補助金等の支援により、合併処理浄化槽の設置を推進しています。また、農業集落排水処理施設の整備を推進しています。
- 町環境保全課が町内の工場・事業場の15施設について、排出水の調査を年1回継続的に行っています。その調査において、各事業者との環境保全協定等に基づく基準値を超えている場合は、当該事業者に対して再調査や対策を実施するよう指導を行います。今後も継続して調査していきます。

1-3 水とふれあい、水資源への意識を高める

- 町が実施した殿川の生き物調査や町民団体が実施した河川の清掃活動等を通じて、水資源の大切さを伝えるとともに水とのふれあいを推進しています。町民・各種団体・事業者にも水資源の大切さを知ってもらえるよう活動の様子をホームページ等に掲載しています。取組指標の目標値は達成していますが、多くの方に参加してもらえるように川をきれいにする啓発イベントの内容を充実させていきます。
- 町では節水の呼びかけ等を行い、水資源の大切さを町民・事業者へ普及啓発しています。
- 公共施設での雨水や排水処理水の利用設備の導入はありませんでしたが、今後施設を改修する際には導入を検討します。雨水利用について、町民や事業者に向けて、町のホームページ等で情報発信に努めます。

基本目標2

大気：すがすがしい空気と心地よい環境で人々が快適に過ごすまち

平成31年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R1年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	大気汚染の環境基準適合状況※1	100%	100%※3	100%	A
	降下ばいじんの目標達成状況※2	100%	100%	100%	A
	公害苦情件数(騒音・振動・悪臭)	9件	25件	現況値より 減少	C
取組指標	協定に基づく事業所ばい煙測定回数	1回/年	1回/年	1回/年	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない

※1 大気汚染の環境基準適合状況=二酸化窒素、二酸化硫黄、浮遊粒子状物質の環境基準達成の割合

なお、光化学オキシダントについては、全国的に環境基準を達成できていない状況であり、町独自の対策を実施することも困難であるため、環境指標には設定せず、経年変化の把握のみ行うこととします。

※2 降下ばいじんの目標達成状況=測定値点数に占める目標達成地点数の割合

※3 平成30年度の数値(福岡県の公害関係測定結果より)

○大気汚染の環境基準適合状況については、環境基準を達成しています。

○降下ばいじんの目標達成状況については、町内12地点すべてで目標を達成しています。

○公害苦情件数については、25件(うち、騒音4件、悪臭2件、その他19件)となっており、前年度(13件)より12件増加しています。

○環境保全協定に基づく事業所ばい煙測定については、9事業所で行いました。全ての事業所で基準値以内でした。

2-1 大気環境を保全する

- 町及び福岡県が継続的に大気環境のモニタリングを実施しています。町が実施する降下ばいじん調査は、町内12地点で毎月1回行っています。また福岡県が役場庁舎に大気汚染常時監視測定局を設置しており、常時測定が行われています。測定結果や光化学オキシダント、PM2.5に関する情報は広報かんだと町や県のホームページで情報提供しています。環境指標の目標値は達成できていますが、今後も継続してモニタリングを実施し、問題の未然防止に努めます。
- 町では町内の工場、事業場の一部施設について、ばい煙調査を9事業所（11施設）において年1回継続的に行っています。その調査において、環境保全協定等に基づく基準値を超えている場合は、当該事業者に対し再調査や対策を実施するよう指導を行います。今後も継続してモニタリングを実施します。
- 町では環境にやさしい公用車導入やエコドライブの推進など、自動車排ガスの低減に取り組んでいます。今後もエコドライブについて、情報発信の充実に取り組みます。

2-2 騒音・振動・悪臭・有害化学物質による汚染を防ぐ

- 自動車騒音・振動については、福岡県がモニタリングを実施しています。町では、その結果を確認し、苦情原因になりそうな場合は関係機関と協議するなど問題の未然防止に努めます。環境指標は目標値を達成していますが、法令で規制されない苦情が増加傾向にあるため、町民や事業者に対し広報かんだやホームページ等で環境配慮に関する情報発信の充実に取り組みます。
- 工場・事業所については、町が適正な届出の指導や助言を行っています。また施設等の適正な使用・管理について、監視・指導を行っています。
- 有害化学物質については、福岡県が実施する研修会や文書等で情報収集を行っています。事業者は有害物質の適正な管理に努めています。過去に問題となった事例はありませんが、問題が発生した場合には県や関係機関と連携し迅速に対応を行います。

基本目標③

ごみ：ごみを減らし、資源が循環するまち

平成 31 年度の成果

	名 称	基準年値 (H23 年度)	現況値 (R1 年度)	目標値 (R5 年度)	評価
環境指標	町民 1 人 1 日あたりのごみ排出量※ ¹	1,016 g/人/日	985 g/人/日	914 g/人/日	B
	ごみのリサイクル率 (RDF 化除く) ※ ¹	15.3%	15.9%	25.0%	B
取組指標	資源ごみの拠点回収の 箇所数	6 箇所※ ²	16 箇所	16 箇所	A
	集団回収登録団体数	46 団体	39 団体	60 団体	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない -：評価できない

※¹ 「苅田町一般廃棄物処理基本計画」(平成 26 年 3 月)と共通の指標

※² 基準年値は平成 25 年度(紙ごみ拠点回収事業開始が平成 25 年 6 月のため)

○町民 1 人 1 日あたりのごみ排出量については、前年度(959 g)から 26 g 増加しています。ごみ減量化意識の向上推進に努めてまいります。

○ごみのリサイクル率については、前年度(16.3%)より 0.4%減少しています。

○資源ごみの拠点回収の箇所数は、紙ごみ 6 箇所・古着 10 箇所です。更なる拠点回収場所の増設を検討します。

○集団回収登録団体数は、前年度(42 団体)から 3 団体減少しています。更なる登録団体募集に努めてまいります。

施策や取組の現状と課題

3-1 ごみ減量を推進する

- 町民1人あたりのごみ排出量は985gとなっております。全国平均は918g(平成30年度実績)であり、町民1人あたりのごみ排出量はまだまだ多い状況にあります。
- ごみ排出量の抑制について、資源物の分別回収等の家庭・事業所でできる取り組みについて、広報かんだやホームページなどを通して情報発信しています。今後も新しい取り組みなど随時紹介し、ごみ減量に対する意識向上を図っていきます。
- ごみ処理有料化については、今後も検討を行なっていきます。

3-2 ごみの分別・リサイクルを推進する

- ごみの分別ルール等を、広報紙やホームページ及びLINE等で町民に啓発しています。
- 家庭から排出される燃やせるごみの中には、紙類のように再資源化できる物が混入しています。町民の資源化に対する意識の向上を図り、再資源化への啓発を進めるとともに、紙ごみの分別収集ができるよう関係機関と調整していきます。
- 地産地消フェアにおいて、エコバッグ配布しリユース活動推進をしています。また、役場内の物品調達については、再生資源を使った製品を使用しています。エコバッグ使用については、スーパーマーケット等でレジ袋を使わずに、エコバッグを使用して買物をしようという機運の盛り上がりにより、着実に増加しています。

3-3 ごみについて考える機会を増やす

- ごみ排出について、広報かんだやホームページ等で情報を発信していますが、イベント等での一般町民に対しての周知する機会増を検討していきます。
- エコプラントやリサイクルセンターの見学を積極的に受け入れています。平成31年度の見学者数は、エコプラント85人で、リサイクルセンターはいませんでした。

3-4 ごみ処理システムを改善する

- 分別回収を徹底するため、ごみ出しルールの周知を行っており、ルール違反ごみについては排出者への指導を行ってしています。ごみ出しルールの啓発を推進します。
- エコプラントの長寿命化対策や、町の特性を活かした環境配慮型の効率的で合理的な処理システムについて、情報収集に努めます。

基本目標4

みどり・生き物：みどり豊かな自然や生き物とふれあい、育むまち

平成31年度の成果

	名称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R1年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	森林面積※1	1,652ha※2	1,680ha※3	現況地を維持	A
	耕地面積	570ha※4	553ha	現況値を維持	C
	自然環境に満足している 町民の割合(★)	19.5%	—	現況値より 増加	—
取組指標	殿川のホタル確認数	65頭	約287頭	500頭	B
	自然観察会等の実施回数	1回	5回	2回	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない
(★)は「第4次苅田町総合計画」と共通の指標。

※1 森林面積=農林水産省が5年ごとに実施する「農林業センサス」によって把握。

※2 基準値は平成22年度の値。

※3 現況値は平成27年度の値。

※4 基準値は平成24年度の値。

○森林面積については、横ばいで推移しています。

○耕地面積については、横ばいで推移しています。

○自然環境に満足している町民の割合については、令和1年度アンケートは未実施です。

○殿川のホタル確認数については、殿川の清掃活動やホタル水路の草刈を各年2回実施するなど、ホタルが生息しやすい環境整備に努めています。前年度ホタル確認数（312頭）でしたが、今年度は梅雨の影響等から前年より25頭減少しています。

○自然観察会等の実施回数については、前年度（5回）と同回数です。福岡県が広谷湿原自然観察会を春と秋に開催し、町では夏に殿川の生き物調査を開催し47名が参加しました。また、「殿川とホタルを守る会」がホタルの幼虫の放流と、ホタルの鑑賞会を実施しました。

施策や取組の現状と課題

4-1 山・里山・川・池・海を守り、生き物を大切にする

○開発行為が行われる際に、その影響を回避するための措置を行うよう積極的な助言や指導が行えていなかったため、今後は指導を行っていきます。

○河川工事の際は、自然環境に配慮した整備を行っています。今後も有識者や河川工事担当課と連携を取り合って、自然に配慮した維持管理を行っていきます。

4-2 自然とのふれあいを促進する

○広谷湿原の自然観察会や殿川の生き物調査、殿川のホタル観察会を実施しました。また、観光協会主催のしっちょうかん苧田ツアーにおいて「苧田港周辺クルージング」や「晩秋の広谷台（平尾台）に登ろう」などのツアーを開催しています。今後も自然とふれあう実施プログラムの開発や、受け入れ体制の整備を行っていきます。

○町内の生き物情報はこれまで発信していなかったため、今後は広報かんだやホームページに自然観察会で発見した生物情報などをわかりやすく積極的に発信していきます。



平尾台

基本目標5

まちなみ：まちなかのみどりと親しみ、自然と調和した美しいまち

平成31年度の成果

	名称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R1年度)	目標値 (R5年度)	評価
環境指標	町民1人あたりの都市公園面積	5.4㎡/人	5.3㎡/人	10㎡/人	C
	住環境に満足している町民の割合 (★)	18.7%	—	現況値より 増加	—
取組指標	環境美化の日のごみ回収量 (2t車台数)	250台	295台	現況値より 減少	B
	花いっぱい運動への参加団体数	19団体	43団体	50団体	B
	歴史・文化財関連の講座・イベント ※1の実施回数※2	15回	20回	18回	A

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※(★)は「第4時荻田町総合計画」と共通の指標。

※1 歴史・文化財関連の講座・イベント=「かんだ郷土史研究会」や「荻田ガイドの会」との連携等によって実施する講座・イベントのうち、歴史的・文化的資源を直接、鑑賞等で活用するもの(例：まち歩き等)

※2 荻田町観光協会「荻田ガイドの会」の講座・イベントを追加しました(平成28年度成果より)

○町民1人あたりの都市公園面積については、前年度と同じで横ばいで推移しています。

○住環境に満足している町民の割合については、令和1年度アンケートは未実施です。

○環境美化の日のごみ回収量については、前年度(302台)より7台分減少しています。
主に減少したのは、不燃ごみです。

○花いっぱい運動への参加団体数については、前年度と同じで横ばいで推移しています。

○歴史・文化財関連の講座・イベントの実施回数については、前年度(17回)より3回増加しています。平成31年度のイベントで主なものは、第17回全国地域映像コンクール地域文化アーカイブス理事長賞を受賞した「国指定重要無形民俗文化財等覚寺の松会」展示会を実施したことです。全国で唯一「幣切り」事業を実施する神事の保存振興を目的に、松会が国指定重要無形民俗文化財20周年を迎えたことを記念して作成された映像作品の展示上映を実施しました。

5-1 身近なみどりを増やす

○既存公園については、年2回花植えを行い美しい街並みを形成するため、まちなかでの緑化を推進しています。また、緑地の保全整備を進めるとともに、緩衝緑地について整備や見直しについての検討を進めます。

○花いっぱい運動への参加団体数は43団体となっており、地域や町民と協働した取組を通じて美しい町並みの形成の推進を図ります。

5-2 まちをきれいにする

○春と秋の年2回「環境美化の日」に各区住民や協力業者により、町内一斉清掃活動を実施しています。ボランティア参加のごみ運搬協力事業者数が減少傾向にあり、地域住民の高齢化等継続していく上で課題もありますが、今後も参加協力を呼びかけます。

○道路・公園・河川サポート活動団体の募集をしています。一定区間の町道や公園の美化活動を行うために、町と協定を結び公認団体として美化清掃活動を行います。平成31年度末時点での団体数は、道路12団体、公園2団体、河川1団体の合計15団体です。

○不法投棄箇所やルール違反ごみの多いごみ集積場所には、看板等の設置により啓発を行っています。

○ごみ集積場所に分別しないままごみを出したり、他の地域の人がごみを投棄したりすることが問題となっています。所有者やごみ集積場所の管理者と連携し、注意啓発看板を設置する等不法投棄の発生防止を図ります。また不法投棄の通報に際しては、現地確認・排出者への指導を行い、悪質な場合は警察に通報するなど適正に対処していきます。

5-3 良好な景観を形成する

○景観に配慮した道路等については、福岡県と整備箇所や時期などについて協議を進めます。また、景観計画の届出制度については、福岡県と連携し一層の周知に努めます。

○良好な景観を形成するため、建築物や屋外広告物に対して景観法や地区計画に基づき適宜指導を行っています。

○かんだ郷土史研究会・苧田ガイドの会との連携により、まちの歴史を学ぶ講座や視察研修を行っています。苧田ガイドの会が年2回「知っちゃんかん苧田」を企画し、町内外の方が多数参加されています。平成31年度は合計522名の参加がありました。

基本目標6

エネルギー：エネルギー問題に取り組み、地球温暖化防止に貢献するまち

平成 31 年度の成果

	名 称	基準年値 (H23 年度)	現況値 (R1 年度)	目標値 (R5 年度)	評価
環境指標	温室効果ガス総排出量	3083 千 t-CO ₂	4,797 千 t-CO ₂ *4	—	—
	家庭部門の町民 1 人あたり CO ₂ 排出量	1.65 t- CO ₂	1.20 t- CO ₂	—	—
取組指標	公共施設の温室効果ガス排出量 *1	7,515 t-CO ₂	4,247 t-CO ₂	5,185*3 t-CO ₂	A
	省エネルギー・再生可能エネルギーに関する情報提供回数*2	7 回	1 回	10 回	C
	公共施設における再生可能エネルギー設備の導入件数(累計)	2 件	2 件	現況値より 増加	B
	コミュニティバスの利用者数	109,273 人	78,569 人	現況値より 増加	C

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

*1 公共施設の温室効果ガス排出量=「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」(平成 31 年 2 月策定)と共通の指標
基準年値=(平成 25 年度における温室効果ガス排出量)「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」より

*2 省エネルギー・再生可能エネルギーに関する情報提供回数=広報かんだや町ホームページ等において、省エネルギー・再生可能エネルギー設備機器の紹介や、国や県の補助金制度等の情報提供を行った回数

*3 目標値は、「第四次苅田町地球温暖化対策実行計画」の令和 5 年度目標値を反映しています。

*4 平成 29 年度の数値

○環境指標については、政府の原子力発電を含むエネルギー政策のあり方が決定した後に目標値の設定をするため、現況値の把握のみを行っています。

○公共施設の温室効果ガス排出量については、前年度 4,926 (t-CO₂)から 679 (t-CO₂)減少しています。

○公共施設における再生可能エネルギー設備の導入については、白川小学校と温水プールに太陽光発電装置が設置されています。

○コミュニティバスの利用者数については、前年度 (79,103 人)より 534 人減少しています。

6-1 エネルギーを大切にし、効率的に使う

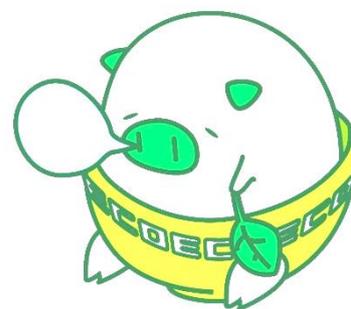
- エコファミリーやエコ事業所などの取組みへの参加を、広報かんだやホームページなどで広く町民や事業所に向け情報提供しています。また地球温暖化防止活動推進員と連携して小学校（2校）や保育園（実施無し）でエコ出前講座を実施し、省エネ行動を普及啓発しています。
- 公共施設ではコピー機や照明などを省エネ製品に切り替え、機器の更新時には省エネ機器を導入しています。特に地域の防犯灯については、LEDに取替えを進めています。また、役場庁舎内の電気使用量の監視装置を設置し、電気使用量の抑制に努めています。役場庁舎内の平成31年度使用量は689,024（kWh）で、前年度と比較して、35,872（kWh）の増加となっています。
- 環境に配慮した建物を普及させるための情報提供を行っていなかったため、住宅や工場などを新築・改築する際に高断熱化や省エネ設備の導入など、環境に配慮した建物を選択できるよう情報の提供を行っていきます。

6-2 再生可能エネルギーを活用する

- 再生可能エネルギー導入について、補助などの情報提供や普及啓発を行っています。
- 町有地の有効利用や公共施設への再生可能エネルギー導入を検討しています。

6-3 車利用による二酸化炭素排出を減らす

- 町のホームページでエコドライブの啓発を行っています。また、エコカーの普及を進めていきます。
- 町の公用車については、7台（電気・ハイブリット）を導入しています。引続き環境にやさしい車の導入を推進します。
- コミュニティバスの利用者数については、運賃の値上げ等を行ったため平成27年度からは利用者数が落ち込みました。より多く町民の方に利用していただけるように、ルート等の見直し等により、利用促進に取り組んでいきます。



基本目標7

人：一人ひとりが環境を考え、学び、行動するまち

平成31年度の成果

	名 称	基準年値 (H23年度)	現況値 (R1年度)	目標値 (R5年度)	評価
取組指標	環境関連講座・イベントの 実施回数	8回	7回	10回	C
	「環境レポート※1」の作成・公表	—	年1回	年1回	A
	広報かんだへの環境記事掲載回数	92回	95回	現況値より 増加	B
	町民計画推進組織（かんだエコね っと）※2の会員数 (個人会員・団体会員・企業会員)	—	6会員	30会員以上	B

A：目標値を達成 B：目標値に近づいている C：目標値に近づいていない —：評価できない

※1 環境レポート＝本計画に掲げた目標の達成状況や施策・事業の実施状況について、各年度の成果をとりまとめた報告書のこと。

※2 町民計画推進組織（かんだエコねっと）＝本計画の実行組織としての団体のこと。町民・各種団体、大学等教育機関、事業者等で構成されます。

○環境関連講座・イベント実施回数については、前年度（8回）より1回減少しました。

○「環境レポート」の作成・公表については、毎年度ホームページにて公表しています。

○広報かんだへの環境記事掲載回数については、前年度（89回）より6回増加しています。

○町民計画推進組織（かんだエコねっと）については、新規加入なく横ばいでした。

かんだエコねっとの活動内容の発信を町ホームページ等で積極的に行い、組織が町民や団体にとって、身近に感じられる存在となることを目指していきます。

施策や取組の現状と課題

7-1 環境教育・学習を推進する

○地球温暖化防止活動推進員と連携して、小学校（2校）でエコ出前講座を開催しました。全ての小学校での出前講座の開催を目指します。また、一般町民対象のエコ出前講座を開催できるように仕組みづくりに取り組めます。

○小学校の総合的な学習の時間に、環境に関する学習を実施しています。

7-2 環境情報を発信する

○広報かんだやホームページ、フェイスブックで環境に関する情報を発信しています。

○環境レポートを作成し、ホームページで公表しています。

7-3 環境に取り組む人・団体をつなぐ

○かんだエコねっとの登録団体や個人については、会議室の提供や清掃活動等の資材の提供を行っています。

○かんだエコねっどにおいて、環境保全活動に取り組む各種団体や個人などの相互ネットワーク化を図り、広報かんだ等を通して会員数の増加に向けた取り組みを行います。

○かんだエコねっどには事業者の参加がないため、今後は事業者の登録促進を行っていき、個人・団体のネットワークづくりを推進します。

コロナ禍で大変な時だけど、地球環境改善に向けて
身近なことから実践してゆこう！

